

**平成 31 年度
運営に関する計画
全体会**

大阪市立豊里小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○全国学力学習状況調査の結果は残念ながら算数・国語とも、大阪市平均を下回っており、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も押しなべて低い。しかし、校内に大きな荒れはなく、児童は学校生活や学習に対する取り組みは真面目に一生懸命に取り組んでいる。

○児童質問紙やアンケートの結果から、自他の尊重や自尊心・自尊感情の成熟といった精神面、情緒面での未成熟さが顕著に表れている。こうした心の未成熟さが、学習や運動に対する取り組みにも大きく影響している。

○さまざまな取り組みを含め本校の学校運営に対して、保護者や地域は比較的高く評価してくれている。ただ、地域に対する帰属感は薄れ始め、それが地域の教育力の低下につながっている。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

○平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年 95 % 以上とする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○平成 32 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年前年度より減少させる。

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

○年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

○平成 32 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

○平成 32 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。

（施策 2 道徳心・社会性の育成）

○平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を 90 % 以上にする。

（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成32年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より減少させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策6 國際社会において生き抜く力の育成)

○平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点で、大阪市平均を上回る。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上とする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成31年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成31年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- 平成31年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（81%）より向上させる。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成31年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（89%）より向上させる。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成31年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成31年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を85%以上にする (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の項目「長座体前屈」及び「50m走」について平成31年度末に全学年再調査を行い、その結果が大阪市平均を上回る。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- 平成31年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査の項目「長座体前屈」及び「50m走」について平成31年度末に全学年再調査を行い、その結果が大阪市平均を上回る。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成31年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

(様式2)

大阪市立豊里小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
○平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上とする。	(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
○平成31年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。	(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
○平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。	(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
○平成31年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。	(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
学校園の年度目標	
○平成31年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（81%）より向上させる。	(施策2 道徳心・社会性の育成)
○平成31年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（89%）より向上させる。	(施策2 道徳心・社会性の育成)
○平成31年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。	(施策2 道徳心・社会性の育成)
○平成31年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。	(施策2 道徳心・社会性の育成)
○平成31年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を85%以上にする。	(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○ 基本的生活習慣の確立のために、学期ごとに『げんきアップウィーク』を設け、児童への意識づけを図るとともに、家庭にもフィードバックしていく。 指標 『げんきアップウィーク』の自己評価で、「早ね・早起き・朝ごはん」の項目の達成状況を昨年度（81%）より上回れるようにする。また、個人懇談時に家庭に啓発する。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○ 遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援・指導の方法を策定し、全職員で共通理解を図る。 指標 課題の整理と取組みの改善を図るために、生活指導部を中心に月に1回連絡会を行う。また、話し合った内容を全職員で共有していく。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 異学年交流やたてわり班活動を通して、コミュニケーションスキルを高めるとともに、利他の心構えをもつことができるようとする。 指標 毎週の児童集会や、学期に1回のたてわり班活動を通して、互いに優しい言葉かけができている。	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 児童会活動や学級活動等で、『豊里っ子宣言』につながる取組みを行い、児童が自己有用感を高めながら、明るく楽しい学校生活を送れるようにする。 指標 全児童が『豊里っ子宣言』が目指す学校づくりへの取り組みに1回以上参加する。	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 美化委員会が中心となって設定した美化目標を、集会やポスター掲示などで呼びかけ、学級ごとに、重点的に指導・実践していく。 指標 美化目標のふり返りを毎月行い、年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目の目標達成の児童の割合を85%以上にする。	

(様式2)

大阪市立豊里小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標（小・中学校）	
○平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成31年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成31年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成30年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	
学校園の年度目標	
○平成31年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)	
○全国体力・運動能力、運動習慣調査の項目「長座体前屈」及び「50m走」について平成31年度末に全学年再調査を行い、その結果が大阪市平均を上回る。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	
○平成31年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 習熟度別少人数学習の有効活用や「さんさんタイム」実施・I C Tの活用などにより、基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組みを行う。 	
指標○ I C T機器を活用する場面を週2回以上設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットを使った授業例の交流をはかる。 ○ 各学年の実態に応じた「さんさんタイム」を週1回以上継続して行う。 	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に対して一人ひとりが意見をもち、交流を通して考えを深め合う指導方法や指導材の工夫を行う。 	
指標 各学年、年間1回以上の公開授業、討議会を通して授業内容の改善を図り、成果は紀要にまとめる。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館・自動車文庫・学級文庫の活用や、ネット検索を活用した情報収集を行うなどし、授業に活用する。 	
指標 学校図書館・自動車文庫・学級文庫の活用や、ネット検索を活用した情報収集を行う授業を、各学級年間2回以上行う。	
取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。 	
指標○ 公開授業・討議会・実技研修会などを昨年度実績以上行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 週2回以上I C T機器を活用した英語モジュールタイムを計画・実施していくと共に、英語科の教材整備を進めていく。 	
取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の走力・柔軟性を高めるための運動を、体育の授業で行う。 	
指標 全校で統一した、ストレッチや走力を高める運動「豊里エクササイズ」や「豊里サーキット」を、年間通して体育の授業で行う。	
取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の体力向上のため、集会・休み時間の活動や遊びの工夫を行う。 	
指標 多様な全校遊びやたてわり活動を月1回程度、集会の時間や休み時間に実践する。	
取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 給食週間や栄養指導等を通じて食への関心を高める。 ○ 手洗い重点週間を設けるなど手洗い指導を実践し、健康への関心を高める。 	
指標○ 各クラスの年1回以上の栄養指導や、給食委員会で給食を残さず食べることをよびかける取り組みをするなど、活動を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康委員会による毎週の健康チェックや、年3回以上の重点週間を実施し、手洗いを意識づける。 	